

# くすのきだより



令和5年4月6日  
来迎寺小学校  
4月号

## 来迎寺号、令和5年度の旅に出発します

校長 大橋 直樹

陽春の候、皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

本日より令和5年度の学校生活が始まりました。元気な笑顔で登校する児童に接し、教職員一同、うれしい気持ちでいっぱいです。

新型コロナウイルス感染症への対応については、本日、別途配付しました文書（知立市教育委員会及び知立市小中学校長会発行）のとおりです。ご熟読をお願いします。コロナ禍の3年間、体験的な学習や、対面的なコミュニケーションを伴う学習を制限せざるを得ませんでした。また、地域との情報交換・連携・協働の機会も減少傾向にありました。逆にICTの活用を一層推進できたことや、これまで当たり前とされ続けてきた学校行事をはじめとする教育活動の見直す機会とすることができました。今年度はアフターコロナにおける社会変化に対応するとともに、学区の歴史と伝統を受け継ぎながら、「地域とともにある」新たな来迎寺小学校づくりに努めていきます。

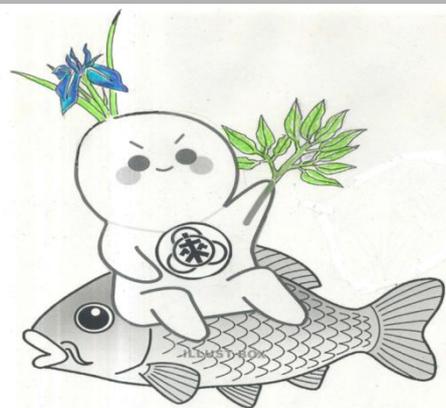
折しも今年度は開校150周年の年度となります。児童や卒業生、保護者や地域の方とこれまで積み上げてきた来迎寺小学校の150年もの時間を偲び、また、新たな50年、100年を展望する機会としたいと考えています。今後、12月5日の記念式典をはじめ様々な取り組みの準備に着手していきます。

さて、今年度で4年目の取り組みとなりますが、本校では、「わくわく学びづくり」「いきいきころろづくり」「すくすく体づくり」「どきどき絆づくり」からなる「来迎寺スタンダード」を基盤にして、「この仲間とだから分かった」「この仲間とだから成長できた」と、自己肯定感と自己有用感を高める子どもの育成を目指しています。

特に、「わくわく学びづくり」についてはすべての教科・領域において学びのユニバーサル化や課題解決的な学習を推進したり、ICT活用をいっそう深めたり広げたりすることで「分かるうれしさ」や「学ぶ楽しさ」を実感できるように配慮します。これは文部科学省が推進する「個別最適な学び」や「主体的・対話的で深い学び」、ギガスクール構想と同じ方向性のものです。特に、総合的な学習の時間においては、SDGs 未来都市・知立を担う市民性の育成を目指し、17の目標に適合した学びや取り組みを展開していきます。

また、「いきいきころろづくり」「すくすく体づくり」「どきどき絆づくり」も含めてすべての教育活動において個々の児童の困り感に寄り添ったり、適切な支援体制を構築したりすることで、インクルーシブ教育の実現を目指していきます。

いよいよ1年間の旅が始まります。新6年生にとっては、最後の旅となります。新入生にとっては、最初の旅です。すべての児童にとって、豊かな時間を共有できる最高で最善の旅になりますように家庭、地域との情報共有・連携・協働を推進していきます。ご理解、ご支援、よろしく申し上げます。



開校150周年 来迎寺小学校  
令和5年12月5日（火）